

かながわ人生100歳時代ネットワーク

団体活動紹介



株式会社279

カブシキカイシャ ツナグ — 279は「つなぐ」

つなぐことで、介護はもっと自由になる。

代表取締役社長 次田 芳尚



DX認定

取得認証 7件（2026年8月時点）

① 団体概要

団体名	株式会社279（カブシキカイシャ ツナグ）
本社	北海道札幌市西区発寒16条12丁目1-20
設立	2021年4月
代表者	代表取締役社長 次田 芳尚
従業員数	30名（2026年6月時点）
運営体制	完全リモート運営 100%（札幌・いわき・京都 ほか）
会員数・予算規模	－（株式会社のため該当なし）
ホームページ	https://279279.net

事業内容 —— 介護を支える4つのサービス

つなぐ手ケアマネセンター

居宅介護支援（完全リモート運営のケアマネ事業所）

むすぶ手サポート

仕事と介護の両立支援（介護離職の防止）

hand in hand

介護事業所のICT・DX化支援（コンサル・学習コンテンツ）

まかせ手オフィス

介護事業所のバックオフィス支援（事務代行）

② 団体発足経緯——理念

よく遊び、よく働く

ケアマネジャーの仕事は、本来どこでもできる。

コロナ禍にその働き方を実践するなかで「これを特別ではなく、あたりまえにすればいい」と確信し、2021年、完全リモートの居宅介護支援事業所を立ち上げました。

働く人自身が満たされていないならば、やさしい介護はできない——だからこそ「ケアマネジャーの働き方を改革する企業」として、自らが実践者であり続けます。

理念を支える「働き方の実践」

- ・ ABW（仕事内容に合わせて働く場所・時間を自由に選ぶ働き方）
- ・ 事業場外みなし労働の雇用契約
- ・ 育児・介護・治療と両立しやすい職場環境
- ・ 副業等による自己実現の後押し
- ・ ライフスタイルに合わせて仕事時間を軽減できる環境

社員自らがウェルビーイングな生活を送れなければ、**良いサービスは提供できない。**

② 団体発足経緯 ―― 活動年表

2021

創業・事業開始

株式会社279 創業／居宅介護支援事業所「つなぐ手ケアマネセンター」開業・特定事業所加算Ⅲ→Ⅱ取得

2022

地域への根ざし

特定事業所医療介護連携加算 取得／「新北海道スタイル」掲載／札幌商工会議所 会員加入

2023

働き方改革と事業拡大

「仕事と介護の両立支援」「北海道働きやすい介護の職場」認証／「まかせ手」「hand in hand」「むすぶ手」3サービス開始

2024

職場環境・健康経営の評価向上

えるぼし認定（認定段階3）／「健康経営優良法人2024」認証

2025

柔軟な働き方の更なる推進

「健康経営優良法人2025」認証／ABW推進開始／「ワーク・ライフ・バランスplus企業」認証／介護休暇・子の看護休暇の有休化

2026

DX経営の対外評価

経済産業省「DX認定事業者」認定（2026年8月）

③ 主な活動（一覧）

居宅介護支援事業所の運営

つなぐ手ケアマネセンター

完全リモート運営のケアマネジメント。ICT活用で札幌・いわき・京都など拠点に縛られない支援を実現

仕事と介護の両立支援事業

むすぶ手サポート

介護離職を防ぐ企業向け相談・研修・セミナー。産業ケアマネ等の専門人材育成も推進

介護事業所のDX促進事業

hand in hand

介護現場のICT導入コンサルティングと学習コンテンツ提供で、業務効率化を伴走支援

バックオフィス事業

まかせ手オフィス

介護事業所の請求・労務などの事務代行。現場が本来の支援に集中できる体制づくり

介護情報基盤 普及促進事業

国が整備を進める「介護情報基盤」の導入・運用を、介護事業所・自治体向けに支援

④ 主な活動（詳細）—— 仕事と介護の両立支援事業

1. なぜ両立支援が必要なのか

介護・看護を理由とする離職者

年間 **約10万人**

「介護離職」の防止は
社会・企業の急務です

1

社会構造の急変

高齢者が増え労働力が減るなか、介護を必要とする人が増える一方で、支える人材が不足しています

2

中核人材の離職リスク

主な介護者となる50～60代は、職場でリーダーや管理職を担う中核層です

3

企業・個人 双方への深刻な影響

企業には重要人材の損失を、個人には経済的困窮や将来不安を引き起こします

だからこそ、**仕事と介護を両立できる環境づくり**が不可欠です。

④ 主な活動（詳細）—— 仕事と介護の両立支援事業

2. 279の両立支援「むすぶ手サポート」

企業向け相談・両立支援サービス

企業と契約し、従業員が介護に直面しても仕事を続けられるよう個別相談・両立環境の整備をサポート

企業・自治体・地域向けの研修・講話

札幌商工会議所の研修や、社会保険労務士等と協働した企業担当者向けセミナーで講師を担当

セミナー・フォーラム・イベントの開催

「介護不幸ゼロセミナー」、FPと協働の地域ケアカフェ「カイゴと働くにまつわる話」、「仕事と介護両立フォーラム」を定期開催

メディアを活用した情報発信

YouTube「279TV」で介護・DX活用・両立支援を発信。フライヤーや定期メールでの周知活動も実施

専門人材の育成・ネットワーク形成

「産業ケアマネ2級・3級」資格試験事務局の運用、「ワークサポートケアマネジャー養成研修」への協力、有資格者ネットワークづくり

⑤ ネットワーク団体へのメッセージ

私たちは完全リモートの居宅介護支援事業所を運営しながら、「仕事と介護の両立支援」に取り組んでいます。

介護離職や、働きながら介護を担う「両立社員」の増加は全国的な社会課題であり、その経済損失は計り知れません。介護のプロとして何か貢献できないか——そう考えて立ち上げたのがこの事業です。当社には「ワークサポートケアマネジャー」「産業ケアマネジャー」といった両立支援の専門資格を持つスタッフが複数名在籍し、中小企業から大企業まで、情報提供や個別相談を通じて「介護に直面しても離職せず働き続けられる環境づくり」を支援しています。

課題は、**両立支援専門のケアマネジャーの存在が、企業にも医療福祉業界にもまだ知られていない**こと。だからこそ、本ネットワークを通じて一人でも多くの方に私たちの取り組みを知っていただきたいと考えています。

企業と介護現場を**つなぐ**架け橋に。ぜひ皆様と連携させてください。